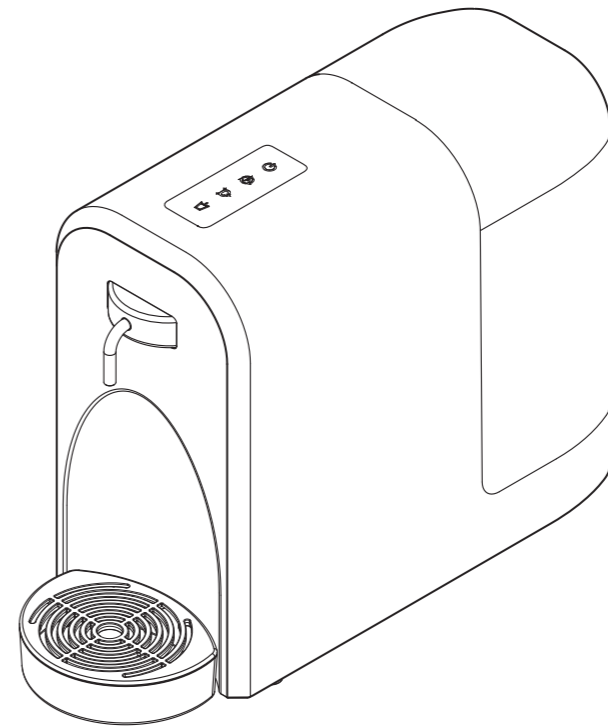


水素水生成器



製造販売元
株式会社 ガウラ

〒150-0011
東京都渋谷区東 2 丁目 26-16
渋谷 HANA ビル 4F
TEL : 0120-453-006

保管用

- 取扱説明書をよくお読みの上、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- 保証書はお買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。




目次

・安全上のご注意	1
・本体部品名称	4
・操作部名称/操作部LED機能/ボタンの押し方	5
・付属品	5
・使用前	6
・使用準備	6
・使用方法（水素水を注ぐ）	7
・水素水生成器クリーニング機能	8
・カートリッジフィルター交換	8
・お手入れについて	9
・簡単な応急処置や故障時の対処方法	9
・消耗部品の交換・購入について	10
・製品仕様	10
・保証書	11

安全上のご注意（必ずお守りください）




お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し説明しています。 ■お守りいただく内容の種類を、次の表示で区分し説明しています。



 警告	「死亡または重症をおうことが想定される」内容です。		このような表示は「禁止」（してはいけないこと）を示しています。
 注意	「損害を負うことが想定されるか、または物理的損害の発生が想定される」内容です。		このような表示は「強制」（実行しなければならないこと）を示します。

警告


（電源コード・電源プラグについて）

 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。 ・電源プラグをコンセントから抜くときはコードを持たずプラグを持って抜いてください。 ・傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。 ・コード・プラグの修理は販売店にご相談ください。
	<ul style="list-style-type: none"> ●ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない 感電の原因になります。
 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグは根元まで確実に差し込む 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。 ●電源プラグのほこりなどは、定期的に取り除く プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。 ・電源プラグをコンセントから抜き、乾いた布でほこりを拭きとってください。 ●定格15A・交流100Vのコンセントを単独で使う たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

（分解禁止について）


 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●分解したり、修理・改造しない 火災、感電の原因になります。 ・修理は販売店にご相談ください。 	 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●屋外で使用しない 漏電・感電の原因になります。 ●湿気が多い場所で使用しない
---	---	---	--

（メンテナンスについて）


 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●製品本体に水をかけたり、洗ったりしない 感電の原因になります。 ●フィルターカートリッジを交換する際には電源をOFFにする 感電の原因になります。 ●フィルターカートリッジは必ず純正部品を使用する 水質異常の原因になります。
---	---

注意


（設置について）

 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> ●火気や暖房器具・調理レンジ・コンロの近くなど高温になる場所 直射日光を避ける 故障や変形の原因になります。 ●硬くて平らな場所で使用する 故障の原因になります。 ●周囲の温度が常温でなければならない 温度が0℃以下の場合には凍結する恐れがあります。
---	---



（運搬・設置について）

 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> ●本体は絶対に横運搬、横倒しにはしない 故障の原因になります。 ●製品が稼働している時には移動させない 故障の原因になります。
---	--

（メンテナンスについて）

 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> ●シンナーやワックスなどの化学薬品は使用しない 製品の変色などによる損傷の原因になります。 ●定期的なカートリッジの交換が必要 水質の悪化・故障の原因になります。
---	--

（使用するときについて）

 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> ●製品に無理な衝撃を与えない 故障や損傷の原因になります。 ●製品の上に重いものを置かない 破損の原因になります。 ●製品に35℃以上のお湯を通さない 故障の原因になります。 ●本器から異常音、異臭が発生したり、水漏れが発生したら使用を中止する 火災・感電・故障の原因になります。 販売店またはお客様相談室にご相談ください。
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●本器は水道法に適合する飲料水が対象 次の水は故障の原因となることがあります。 塩分の多い水・濁りのひどい水・赤サビの多い水・硬度の高い水

⚠ 注意

(飲用の使用について)



必ず守る

●乳幼児のミルク等の使用について

ご使用される場合は、ご使用されているミルクメーカーの仕様に従ってください。

●薬の服用時の使用について

相性の良いものや悪いものがあり、副作用を起こしてしまうことがあります。含まれている成分によっては、薬の効果を相殺して無くしてしまうリスクがありますので掛かり付けの医師にご相談ください。

●飲用できないかたについて

妊娠中の方、腎臓疾患、無酸症、水分摂取制限、治療中、身体に異常を感じる方など掛かり付けの医師にご相談ください。

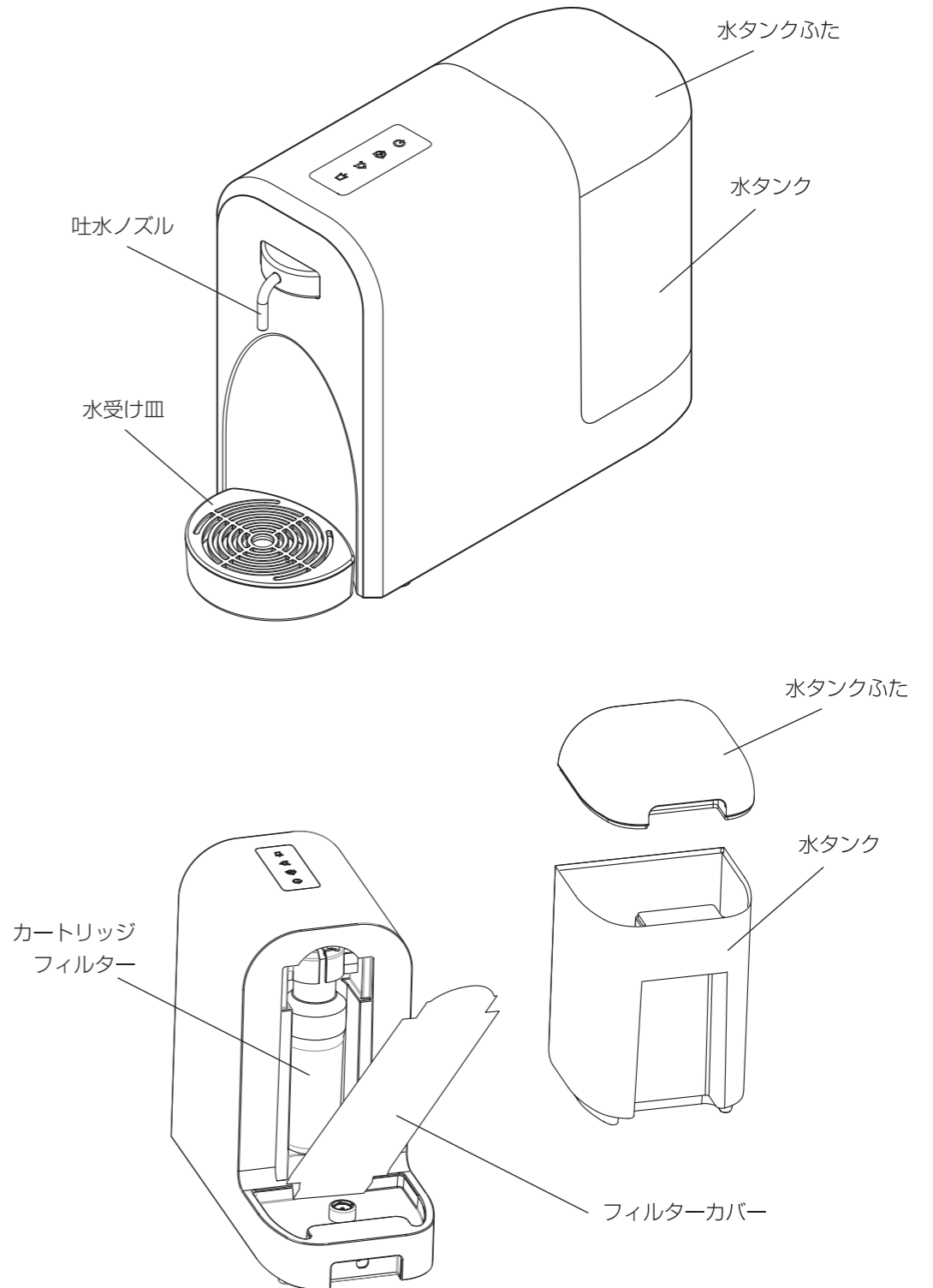
(タンクの使用について)



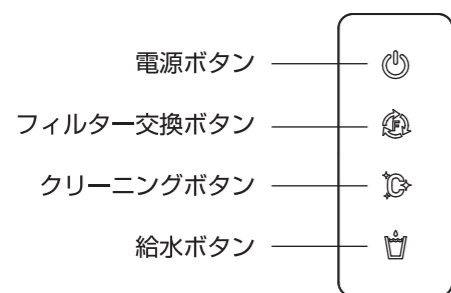
必ず守る

●タンクに注いだ水は、季節・温室・気温等で異なりますので、衛生上なるべくお早めにご使用ください。

本体部品名称



操作部名称



操作部LED機能

電源ボタン	消灯	電源 OFF 状態
	白点灯	電源 ON 状態
	白点滅	水質・環境によっては、機器の保護のため給水を中止します。点滅が停止するまで少しお待ちください。
	赤点滅	本体異常 ※電源を入れ直しても解消されない場合は販売店まで連絡してください。
フィルター交換ボタン	白点滅	カートリッジフィルター交換のお知らせ (3,000L 使用后、詳細は8ページ参照)
クリーニングボタン	白点滅	クリーニングのお知らせ (30L 使用毎、詳細は8ページ参照)
給水ボタン	白点灯	待機状態
	点滅	水素水を出すとき

ボタンの押し方

操作部のボタンはタッチセンサーとなっています。

ボタンを押すときは指先でマークの部分のみを押してください。

水滴等による誤動作防止機能が組み込まれているため、操作部の他の部分を触りながら押した場合は、操作できない場合があります。

付属品

・水タンク ・水タンクふた ・水受け皿 ・取扱説明書

使用前

- 水道水以外の水を使用する場合は、必ず水道法に定められた水質基準に適合した水を使用してください。
- はじめてご使用の時はかならず水タンクのすすぎを行ってください。
また6時間以上ご使用になられなかった場合も、すすぎをおすすめいたします。
※衛生上、室内温度・湿度により異なります。

使用準備

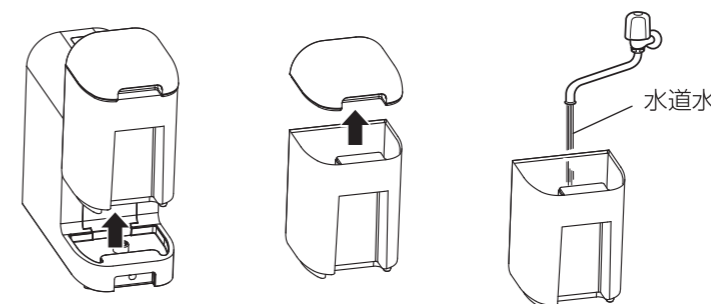
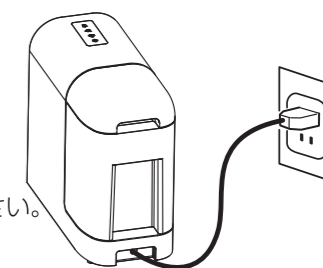
1 本体の設置

- ①本体を水平になる場所に設置してください。
※濡れた場所には設置しないでください。
- ②フィルターカバーを外して、フィルター落下防止の段ボールを外してください。
- ③フィルターカバーを取り付けてください。
- ④水受け皿、水タンク、を本体にセットしてください。

2 電源プラグをコンセントに差し込んでください。

3 水タンクに水を入れる。

- ①水タンクを本体からはずしてください。
- ②水タンクふたをはずし、水を入れ、水タンクのふたをしてください。
※水タンクには水以外のものを絶対に入れないでください。
※タンク容量：最大4L (適正水量：最小約1L/最大約3L)
→水素吐水までの流量(最小約1L)、持ち運びしやすい流量(最大約3L)



4 水タンクを本体にセットする。

- 水タンクをセットし、根本までしっかりいれてください。
※水タンクがしっかりセットされていない場合、水漏れの原因となります。
※水タンクに水が入った状態で何度も抜き差しすると、水がこぼれることがあります。

5 吐水ノズルを下に向ける。

- 吐水ノズルが下に向いていることをご確認ください。
※吐水ノズルを上に向けて使用しないでください。

6 電源を入れる。

- 電源ボタンを押してください。
→電源ボタンと給水ボタンが点灯し待機準備状態になります。
※約5分間何も動作させないと電源が自動的に切れます(オートオフ機能)。

7 カートリッジフィルター交換のカウンターリセット

- フィルター交換ボタンを3秒長押しするとブザーが鳴ります。
※初めてのご使用時及びカートリッジフィルター交換後のみ行ってください。

使用方法（水素水を注ぐ）

- ①吐水口の下にコップ等を置いて、給水ボタンを押してください。
 - 給水ボタンが点滅し吐水ノズルから水素水がでます。
 - ※1回に最大60秒間、水素水が出ます。
 - ※必ずコップ等の容器を置いて水素水を注いでください。
 - ※吐水ノズルからは、きめ細かい気泡を含んだ水素水が出てきます。水質や水温によって気泡の量は変化しますが、使用・動作には問題ありません。
 - ※連続使用時間：常温時間4分間（室内温度・湿度により異なります。）
 - 異常時、操作部LEDの電源ボタンが白点滅します。再度使用するには、操作パネルLEDが白点灯に変わるまでお待ちください。（室内温度・湿度により復旧時間が異なります。）
- ②水素水がでている時に、給水ボタンを再度押してください。
 - 給水ボタンが点灯に戻り、吐水ノズルからの水素水が止まります。
- ③生成後、水素水はなるべくお早めに飲用してください。
 - 生成水に含まれている水素は時間の経過と共に徐々に減るため、なるべく早めに飲用してください。

<ご使用開始時の水素濃度について>

未使用状態の水素発生器は、白金電極の特徴として使用開始から約10L（タンク約2杯半程度）まで水素発生が安定しません。

※水素発生が安定するのに、使用する水量を記載しています。

！
必ず守る

- 衛生上、初めてご使用の際は、約1Lの水を捨ててください。
 - ・カーボンフィルターの内部洗浄のため、約1L程捨ててください。
- ※三日程度お使いになられなかった場合も同じです。
（配管内に溜まっていた水を捨てる作業になっております。）
- タンク内の水は、衛生上一日一回交換してください。
- 6時間以上使用しない時は、タンク内及びサーバー内の水が出なくなるまで水を出しきってください。
 - ・配管内の水の流れがとどまるため、必ず実施してください。
 - ・必ず、電源プラグを抜いてください。

水素水発生器クリーニング機能

30Lご使用の度に、クリーニングボタンが点滅し水素水発生器クリーニングをお知らせします。
※クリーニングお知らせ時は、給水ボタンを押しても給水されません。

■クリーニングの方法

クリーニングボタンが点滅したら600mL以上の容器等を吐水ノズルの下に置いて、クリーニングボタンを3秒長押ししてください。
25秒間の水素水発生器クリーニングがはじまり、吐水ノズルから排水されます。
※約500mL吐水ノズルから排水されます。
※クリーニングの水は飲用しないでください。
※必ずタンク内の水の量が600mL以上入っていることを確認してください。
足りない場合はタンク内に水を足してください。

■手動クリーニングモード

クリーニングのお知らせがなくても、クリーニングボタンを3秒長押しするとクリーニングがはじまります。

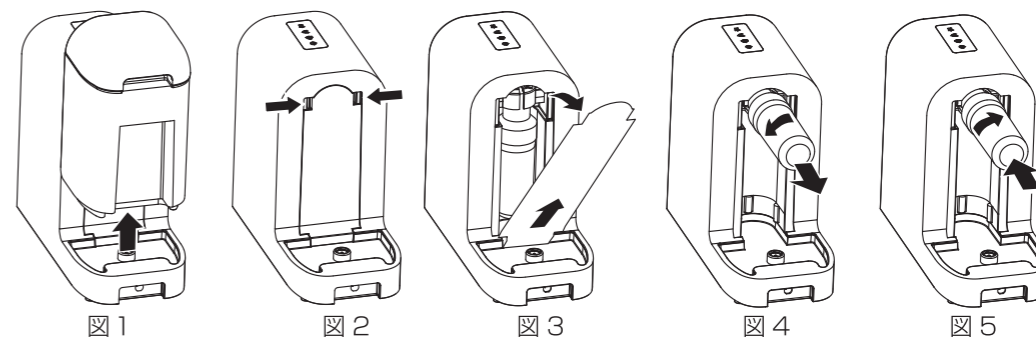
カートリッジフィルター交換

お使い始めから3,000Lでフィルター交換ボタンが点滅します。

フィルター交換の表示がでるか、もしくは1年経過したら3,000L未満でもカートリッジフィルターを交換してください。

■カートリッジフィルターの交換方法

- 1 本体背面の水タンクを取りはずしてください。
（図1：矢印方向に水タンクを持ち上げ取り外してください）
- 2 吐水ノズル部にコップ等の容器で水を受ける準備します。
- 3 給水ボタンを押します。
※若干水が跳ねますのでご注意ください。
- 4 水が出なくなったら、容器の水を捨て、電源をOFFにしコンセントを抜いてください。
- 5 フィルターカバーを本体から取りはずしてください。
（※図2：フィルターカバー上部のつめを矢印方向に押ししてください）
（※図3：その後矢印方向に上部を手前に引き、上に引きあげてフィルターカバーを取り外します。）



- 6 カートリッジフィルターを本体から取りはずしてください。
- 本体をおさえながらカートリッジフィルターを持ち、手前に預けて左に回して取りはずしてください。(※図4参照)
- ※カートリッジフィルターは無理やりはささないでください。故障の原因となります。
- ※ フィルターカートリッジ交換時、残り水がこぼれる場合があります。タオル等のご準備の上、交換してください。
- 7 新しいカートリッジフィルターを本体にセットしてください。
- カートリッジフィルターを手前に傾けて右に回しセットしてください。(※図5参照)
- 8 フィルターカバーを本体に取りつけてください。
(下部から取り付け、その後上部を取りつけます。)
- 9 電源ボタンを押して電源をONにしてください。
- 10 フィルター交換表示の解除方法
フィルター交換ボタンを3秒長押しするとブザー音が鳴り、フィルター交換表示を解除します。
- ※フィルター交換後のご使用の際は約1L(コップ5杯程度)の水を捨ててください。

お手入れについて

安心してご使用していただくために定期的に水素水生成器のお手入れを行ってください。

■本体外装部のお手入れ

- ①薄めた台所用中性洗剤をやわらかい布に含ませ、固く絞り、汚れを拭き取ってください。
 - ②水で絞った布でよく拭いてください。
 - ③乾いたやわらかい布で水気をよく拭き取ってください。
台所用中性洗剤以外を使用しないでください。
- ※必ず電源プラグをコンセントから外して作業を行ってください。
- ④ノズル部分を綿棒等で汚れを拭き取ってください。

■タンク・受け皿のお手入れ

- ①薄めた台所用中性洗剤を柔らかいスポンジ(キズが付かないもの)に含ませ内部・外部を洗浄します。
 - ②水洗いですすぎます。
 - ③乾いたやわらかい布で水気をよくふき取ります。
- ※衛生上、タンク・受け皿は定期的にお手入れをお願い致します。
- ※食器乾燥機等でのご使用は、しないでください。
タンク・受け皿の変形を及ぼします。

簡単な応急処置や故障時の対応方法

確認事項	措置事項
水が出ないとき	
ー水タンクに水が入っているか？	ー水タンクに水を入れる。
ー正しく水タンクがセットされているか？	ー水タンクを正しくセットする。
フィルター交換ボタンが点滅する。	
ーフィルター交換時期です。	ーカートリッジフィルターを交換してリセットする。

消耗部品の交換・購入について

- 損傷した場合は、新しい部品と交換(有料)してください。
- お買い求めの際には製品の型名および部品名をご確認のうえ、お買い上げの販売店でお求めください。
- 消耗部品
カートリッジフィルター(3,000L)
※カートリッジフィルターを廃棄する場合は、地域指定の処分方法により廃棄してください。
※使用量が3,000L未満でも使用期間が1年経過した際は交換してください。

製品仕様

製品名	水素水生成器
外形寸法	180mm(W) × 380mm(D) × 339mm(H) ※受け皿含まない
質量	約5.1Kg(乾燥状態)
定格電圧	AC100V
定格周波数	50Hz-60Hz
定格電力	100W ※1
カートリッジフィルター成分	活性炭
カートリッジフィルター処理能力	3,000L
連続使用时间※2	常温時約4分間
水タンク容量	4L
使用推奨 TDS(総不純物濃度)	50 - 200ppm ※3

※1 水質により変動します。

※2 水質・使用環境によって短くなる場合があります。

※3 使用のお水のTDS数値が高い場合、フィルター交換の頻度が多くなる場合があります。

